

## 令和2年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
1	2	深澤竜介 議員	1 / 1	
発言項目		要旨		答弁者
1	富士宮市・富士市で、一部事務組合による保健所の設置の提案	<p>市民の生命を守り、健康を向上する意味で、保健所の存在は重要である。さらに、新型コロナウイルス感染症を巡る中で、保健所の重要性がより高まっており、保健行政は、医療圏と一体での運営が望ましいと考える。そこで、富士宮市・富士市での一部事務組合での保健所の設置を提案する。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した場合の情報の流れはどうか。</p> <p>① 情報の流れとしては、まず富士保健所、次に静岡県疾病対策課、富士宮市でいいのか。</p> <p>② 静岡県が公表している以上の情報提供はあったのか。</p> <p>(2) 富士医療圏と保健所について。</p> <p>① 富士医療圏の医師確保や救急医療体制について、保健所が行っていることは何か。</p> <p>② PCR検査場設置にあたって、富士市及び富士保健所との協議はあったのか。</p> <p>(3) 富士宮市・富士市で、一部事務組合で保健所の設置を提案するが、以下伺う。</p> <p>① 法律面での問題点は何か。</p> <p>② 財政的な問題は何か。</p> <p>③ 一部事務組合の設置について提案するが、市の見解はどうか。</p>		市長 副市長 関係部長
2	価値観が変わるウィズコロナ・アフターコロナの時代、移住定住促進と「スーパーシティ」構想への公募について	<p>ウィズコロナ・アフターコロナは、価値観が大きく変わり、富士宮市にとって大きなチャンスである。これをいかすことができるか否かが、富士宮市の今後を左右すると思われる。特に、人々の働き方が変わり、在宅ワークが広がり、毎日出勤しなくてよい生活様式になると、地方移住や2拠点生活が増加すると思われる、IT化の進展度が、人を呼び込むポイントと考えるが、その対応について質問する。</p> <p>(1) 移住定住ポータルサイトへのアクセス数の変化はどうか。</p> <p>(2) 移住者首都圏通勤支援助成金の申請状況はどうか。</p> <p>(3) 静岡県が計画している「新しい移住」推進と連携できるものはあるか。</p> <p>(4) 9月にも公募が始まる国の「スーパーシティ」構想に、エントリーを提案するがどうか。</p>		市長 副市長 関係部長
3	小・中学校の休業決定に係る教育委員会の手続について	<p>(1) 3月・4月・5月の休業はどの会議で決定されたのか。それに対する権限は、何（法律条例等）を根拠としているのか。</p> <p>(2) 休業決定の議事録はあるのか。</p> <p>(3) 教育委員会は、この間どの程度開催されたのか。</p> <p>(4) 教育委員会規則（教育長に委任する規則）を変更し、専決処分と報告について明記すべきと考えるがどうか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長